

和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

(2022.6.6)

文責：辻 興

いつも当協議会運営に際しご協力を賜り心より感謝申し上げます。

6月5日に「令和4年度第1回全国有床診療所連絡協議会役員会」がWeb会議で開催され、報告書を作成致しましたので、以下に概要をご報告させていただきます。

尚、和協 HP 会員ページ「会員事務局発行資料」に全有協発行の役員会資料①②を掲載させていただきますので併せて御参照下さい。



令和4年度第1回全国有床診療所連絡協議会役員会（WEB会議）

日時：令和4年6月5日(日) 11:00～12:00

出席者：辻 興 他 役員35名

◎齋藤会長挨拶

次期日医会長選挙において全有協より推薦を行なう

議 題

（協議事項）

1. 日本医師会会長選挙について(齋藤会長)

有床診への理解のある松本吉郎日医常任理事を全有協として推薦する。

（理事会最後に松本吉郎氏の挨拶あり）

2. 令和4年度事業計画（案）について(齋藤会長)

コロナ騒動も3年目に入り、高齢者の医療機関受診抑制が慢性化し、外来数の減少から各医療機関の経営も回復にはほど遠い状況である。このような状況においても、我々は少子高齢社会における地域医療の担い手として、日本医師会・都道府県医師会と連携しつつ国民の健康と生命を守る努力を続けなければならない。また、全国有床診療所連絡協議会の組織をさらに公的なものとするためには、法人化は避けて通れない課題と思われる。その為に、今年度、以下の事業を行う。

① 有床診療所経営状態の調査を行い、状況に応じ必要な支援を行う。

② 地域住民のニーズに応えるべく、医学・医療の研鑽に努めると同時に、「かかりつけ医」として総合的な初期医療を実践する。

③ 有床診療所・地域包括ケアモデルのかかりつけ医機能を推進すべく、介護事業への参入を推進し、地域の多職種との連携に努める。有床診療所・専門医療提供モデルの活性化を図るため、各専門医会との連携を進める。

- ④ 有床診療所における働き方改革を進め、医療勤務環境を改善する。
- ⑤ 有床診療所における災害の発生防止と対応に十分な対策を講じる。(スプリンクラー補助金の活用促進を図る)
- ⑥ 次世代を担う“若手医師の会”の活動を活発化し、支援する。
- ⑦ 広く全国の地域住民への理解を深めるため、「有床診療所の日」記念行事を継続し、積極的な広報活動を行う。
- ⑧ 本組織の法人化について検討する。

3. 組織の法人化について(斎藤会長)

日医や厚労省との交渉時に法人格を持つ方が良い。

色々な事業が行える一般社団法人化を目指す。

4. 参議院選挙について(猿木副会長)

第26回参議院選挙が6月22日公示、7月10日投開票で進んでいる。日医では組織内候補として自見はなこ氏を推薦し、2期目の再選を目指しており、全有協としても自見はなこ氏の推薦団体となり再選を目指しているが、現時点では当落のボーダーライン上にある。自見はなこ推薦団体対策会議の推薦団体への要望は自見はなこ氏のサポーター名簿の更なる積み増しであるが、都道府県医師会は推薦団体が分散してサポーター名簿を収集することを良しとせず、全有協としては都道府県医師会を立てて、全有協独自でサポーター名簿を集める事はせず、都道府県医師連盟のサポーター名簿集めに協力し、都道府県医師連盟に提出するようにとの方針。投票用紙には自民党でなく自見はなこ氏個人名の記載頂く様お願いする。

5. その他

(報告事項)

1. 4月30日診療報酬改定に関する講演会について(正木常任理事)

2. 日医の有床診療所委員会について(松本専務理事)

令和2年11月26日に開催された第1回委員会において、日医会長より「地域医療提供体制を支える有床診療所のあり方について」検討するよう諮問を受け、7回の委員会を開催し、「令和2・3年度有床診療所委員会最終答申」として取り纏め、令和4年3月15日付で報告。

3. その他